



1階 台所から全体が見渡せ、2階の気配もつながる



東側全景



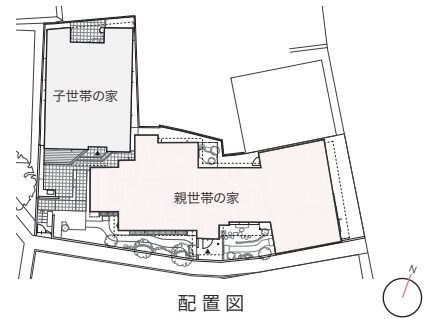
正面外観

[三世代で支え合う終の棲家]

隣に子世帯の住まいを新築することになった。これをきっかけに、親世帯も老後を快適に過ごせるようリフォームすることにした。三世代が仲良く支え合い、家族みんなが幸せを感じられる暮らしが描かれた。

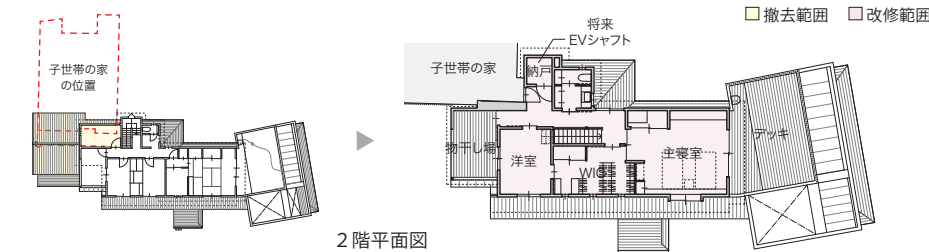
新築から 30 年の間にパイパスが開通するなど周辺環境が大きく変化した。これに対応するため、開口部に格子を立て、庭の植木を調えるなどして、プライバシーを保ちながら自然の移ろいを感じられるようにした。隣の子世帯とは、1階はお互いが縁側から気軽に声を掛けられるような関係に、2階は内部で直接行き来できるようにして将来の生活の変化へ備えた。二世帯は安心感と程よい距離感によって保たれている。

改修のポイントは建物全体がおおらかに繋がるひとつの空間にすること。間仕切りを減らし、廊下や階段を住空間へ取り込んだ。台所に立てば1階の様子が見渡せ、階段を通して2階の寝室まで見えるようになった。どこにいても夫婦の気配が感じられる住まいとなった。同時に耐震補強や高断熱化にも取り組み、開放的な空間にマッチした床暖房を組み合わせた。省エネルギーで安心安全な住まいに生まれ変わった。

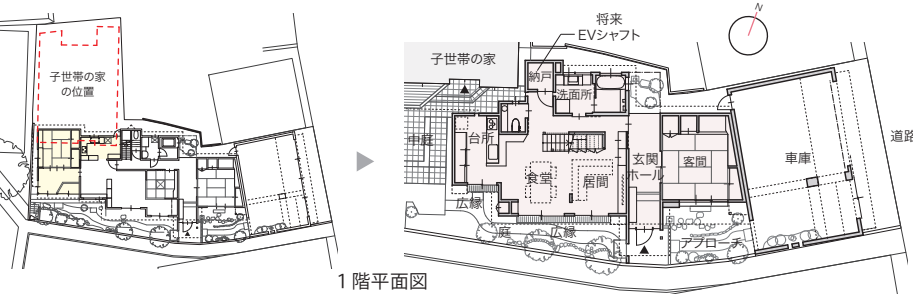


配置図

所在地	尾道市栗原町
主要用途	専用住宅
構造	木造 車庫部分RC造
階数	2階建
面積	敷地面積 362.30㎡
	建築面積 129.55㎡
	延床面積 195.17㎡



2階平面図



1階平面図

before

after



2階 主寝室とデッキ



1階 食堂より庭を見る



縁側の先は子世帯につながる